

Ⅱ 課題を解決するために

1 取り組みの見通しをもつ

＜研修の位置付け＞

課題を解決するためには、具体的な取り組みの内容について考える前に、取り組みの見通しをもつことが大切です。目指す児童生徒の姿を意識して、取り組みの方向性を考えましょう。さらに、目指す児童生徒の姿に段階的に近づくために、3年間の取り組みを考えてみましょう。

【目的】取り組みの方向性と3年間の取り組みを段階的に考えることで、課題を解決するための見通しをもつことができるようにする。

【到達点】取り組みの方向性を基に、3年間の段階的な取り組みを考え、全体で共有する。

【準備物】模造紙（課題取り組みシート（p.12）を拡大複写したもの）マーカーペン
課題取り組みシート

【進め方】（80分）

1 取り組みの見通しを考える

- (1) 個人 ① 学校全体でまとめた目指す児童生徒の姿と課題について確認し、課題取り組みシートの欄にそれぞれ書く。（10分）
② 課題を解決し、目指す児童生徒の姿に近づくために、取り組みの方向性を三つ考え、シートの「取り組みの方向性」の欄に書く。（例：自己肯定感を実感できるような体験活動、そこから得られた気づきに関する振り返り活動の充実）
③ 三つの取り組みの方向性に優先順位を付け、シートに順番を書く。
- (2) グループ ① 目指す児童生徒の姿と課題を、模造紙の欄にそれぞれ書く。（10分）
② 取り組みの方向性について、なぜそのように考えたのか、優先順位の高いものから一人ずつ順番に説明をする。
③ 一人一人の説明を基に、取り組みの方向性を協議し、グループとして三つに絞り、「取り組みの方向性」の欄に書く。
④ 三つの取り組みの方向性に優先順位を付け、模造紙に順番を書く。
- (3) 全体 ① グループごとに説明を行い、他のグループの考えを聞く。（15分）
② 一つのグループの説明が終わるごとに質疑応答を行う。
- (4) グループ ① 他のグループの考えを聞いて、再度取り組みの方向性を検討し、修正があれば修正をする。（20分）
② 目指す児童生徒の姿に近づくための1年目、2年目、3年目の取り組みをそれぞれ一つずつ書く。

2 取り組みを説明する

- ・ 全体 ① すべてのグループの模造紙を黒板等に貼る。（20分）
② 各グループが考えた1年目、2年目、3年目の取り組みを説明する。
③ 一つのグループの説明が終わるごとに質疑応答を行う。

- ④ すべてのグループの説明と質疑応答が終わったら，進行役が，多くのグループから共通して出された取り組みを指摘し，多くの教職員がそれらを重要であると考えていることを確認する。

3 個人で振り返る

- (5分) 研修の自己評価をし，研修で共有した段階的な取り組みを基に，今後どのような取り組みをしていくのか，具体的に書く。

課題取り組みシート

目指す児童生徒の姿			
3年目の取り組み			
2年目の取り組み			
1年目の取り組み			
取り組みの方向性	順位 ()	順位 ()	順位 ()
課題			